

新編武藏國風土記稿

比企郡

卷之二百九十一

和書門		
一六五〇	二二五	二五五
號	函	冊

內閣文庫		
一六五〇	二二五	二五五
號	冊	函

內閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255 (188)
函號	173 210



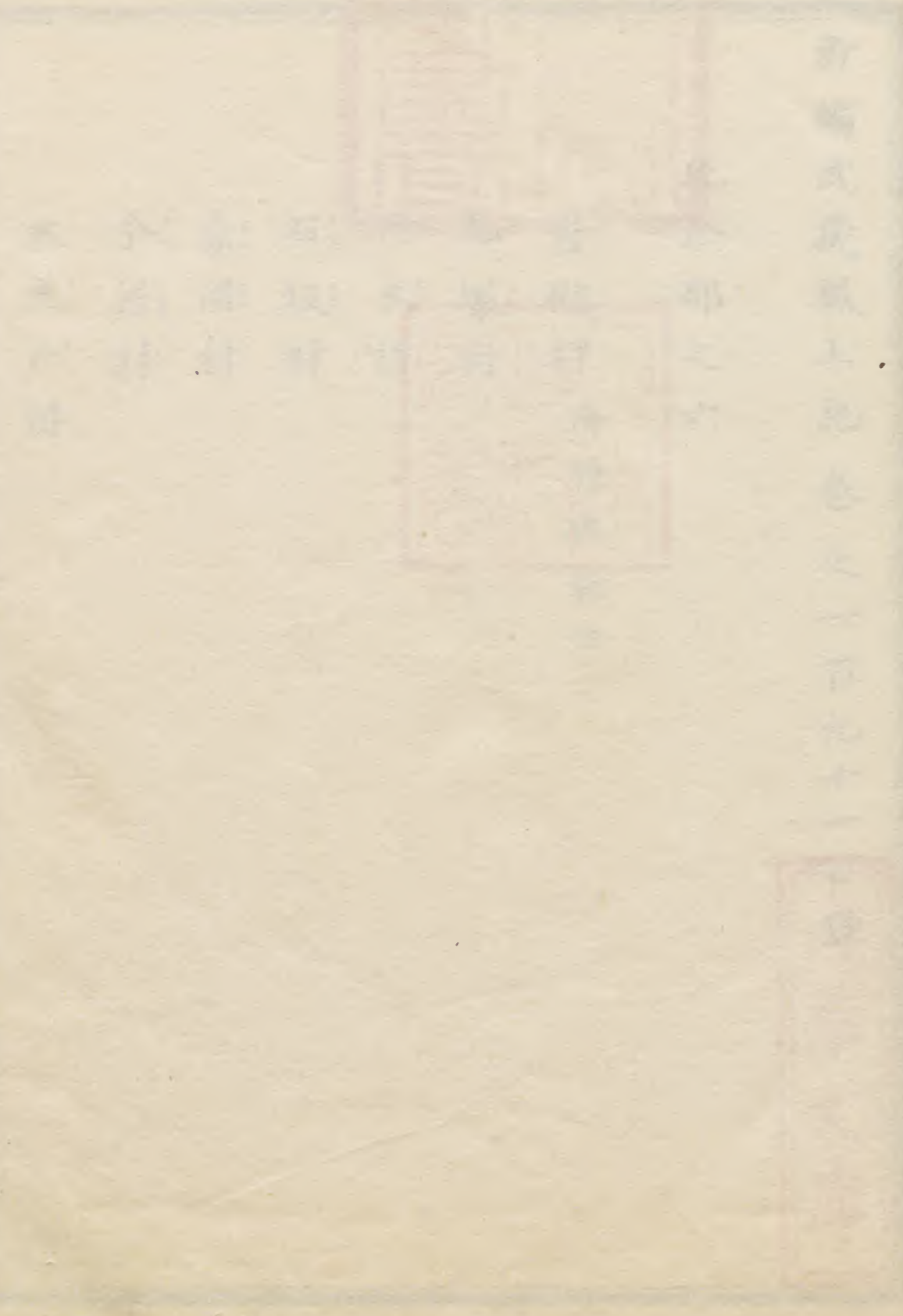
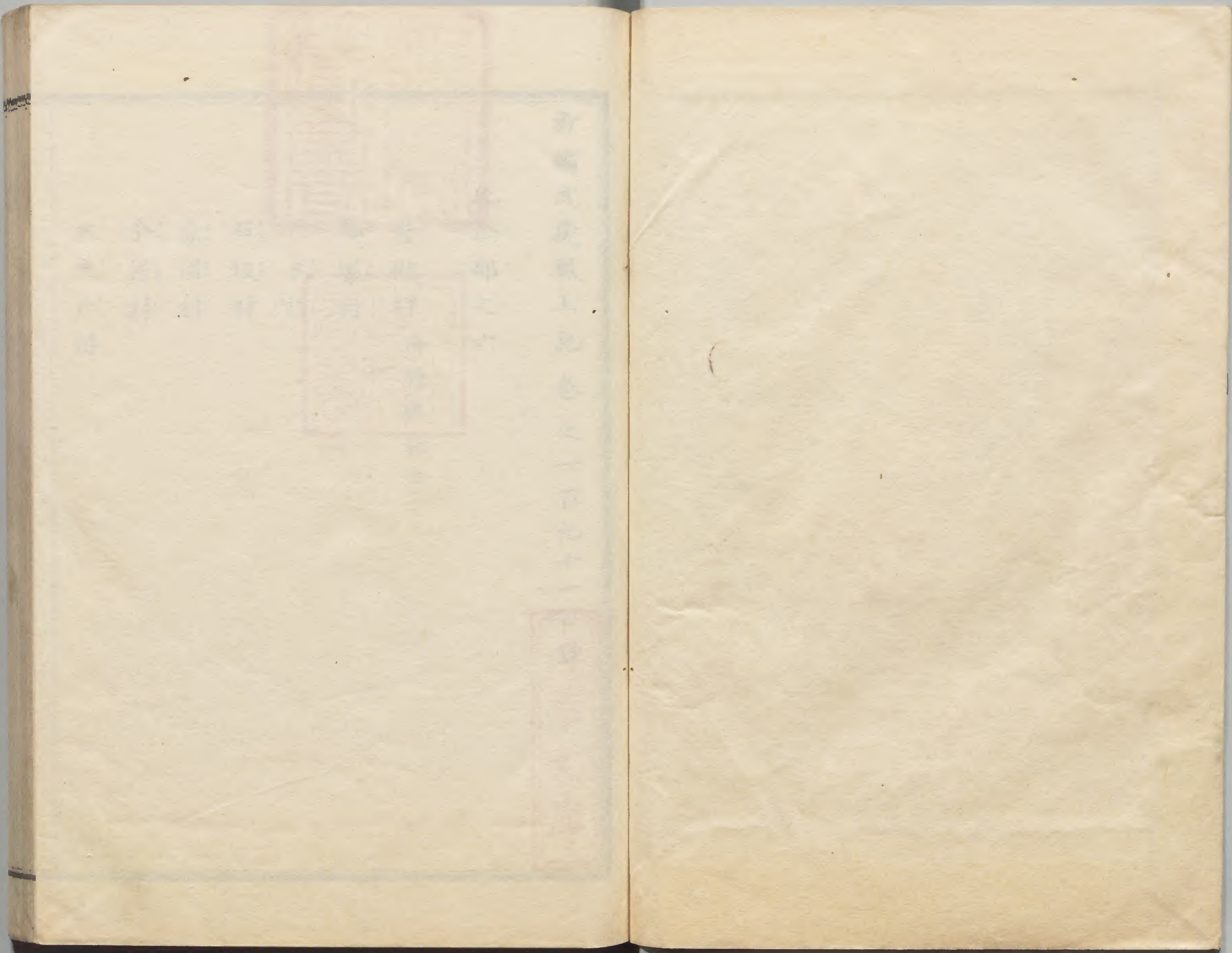
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak 2007 TM: Kodak



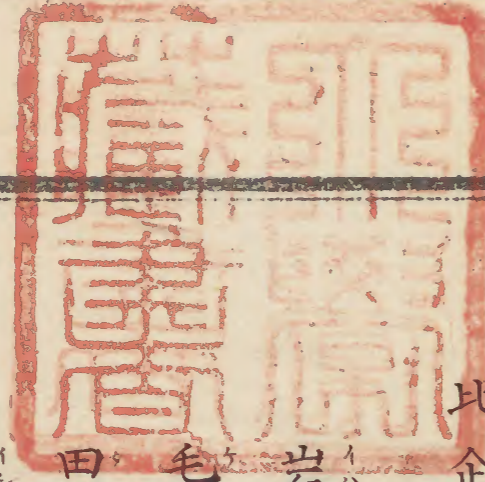


新編武藏版上地巻之二百九十一

新編武藏風土記卷之一百九十一

日淺草文庫

比企郡之六



岩^イ殿^ノ村^{ムラ}
 毛^モ塚^{ツツ}村^{ムラ}
 田^タ木^キ村^{ムラ}
 石^{イシ}坂^{ザカ}村^{ムラ}
 赤^{アカ}沼^{ヌマ}村^{ムラ}
 今^{イマ}宿^{ヤド}村^{ムラ}
 大^{オホ}豆^{マメ}戸^ド村^{ムラ}
 附持新田

奥田村
神戶村
根岸村
大藏村
將軍澤村
鎌形村 附持添新田
須江村
田黒村
竹本村
上泉井村

下泉井村
大槁村
熊井村 附持添新田
高野倉村 附持添新田

新編武藏風土記卷之一百九十一

比企郡之六

岩殿村イノノ附持添新田

岩殿村ハ江戸へノ行程十四里。亀井庄松山領ニ属ス。民家八十軒。村ノ四境。東ハ元宿村ニ境ヒ。西ハ奥田村ニ接シ。南ハ田木村。北ハ葛袋村ナリ。東西ノ徑リ一里。南北十六七丁。總テ山丘ノ地ニシテ。天水ヲ仰グ所ナレバ。ヤハモスレバ旱損ス。井レド當村ハ名高キ坂東札所ノ觀音ノ建ルヲ以テ。叅詣ノ人常

ニツドヒ。村民ヲノヅカラ一ツレカラズ。此邊古ハ
カノ觀音領ナリシニヤ。古文書等ニモ古キ領主ノ
名ハ見エズ。寛永十六年。横田次郎兵衛。同甚右衛門
二人ニ賜ヒ。元禄十一年。川越城主ノ領地トナリ。同
十五年。御料所トナリシヲ。寶永ニ至リ又私領ニ復
サレテ。横田傳七郎。中島孫兵衛二人ニ賜ハリ。今モ
子孫横田源太郎。中島政次郎知行シ。其餘村内正法
寺ノ領入會ヘリ。檢地ハ寛永十六年。横田家ニテ紀
シ。元禄十一年。川越領主ヨリ改メ。其後持添新開ノ
地ハ。延享三年四月。御代官佐久間伊十郎。市川庄左

衛門檢シテ。本村ノ高結ト成シト云。此新田ハ御料
所ナリ。

高札場ニケ所 一ハ觀音ノ前。一ハ望月ニアリ。

小名

望月 モチツキ

物見山 入西十七ヶ村入會秣場ノ内ニテ。雪見峠
トモイヘリ。コレ古昔田村麻呂將軍惡龍退治ノ
時。雪中此山ニ上リテ四方ヲ望ミシユヘ。物見山
又ハ雪見峠ノ名ヲモ得シト。猶後ノ觀音堂ノ條
ニモ載セタリ。

旗塚 觀音堂ノ東南一丁餘ニアリ。小高キ塚ニテ。數十基並ビテアリ。戰爭ノ時旗ヲ立タル塚トレバ呼名トナセリト云。イトオボツカトキ説ナリ。判官塚 比企判官能負ガ追福ノ為ニ築キシモノト云傳フ。サレド由来詳ナラズ。入定塚 由来ヲシラズ。

壘蹟 鎌倉基氏ノ陣壘ト云。按ニ櫻雲記ニ。貞治二年八月。基氏武州岩殿山ニテ芳賀伊賀守高貞入道禪可ト合戦アリシ由ヲ載ス。此頃ノ壘蹟ナリベシ。又築田家譜ニ公方基氏比企郡之内岩戸山

一戦ニ利ヲ失ハレシ時。築田右京亮經助粉骨ヲ抽テ。翌日大利ヲ得タル功ニヨリテ。下武藏小澤郷并領ト見エタリ。此岩戸山ト書シハ岩殿山ノ訛ナラン。

觀音堂 石階數十級ヲ歷テ山上ニアリ。坂東三十所ノ一ニテ第十番ナリ。世ニ岩殿觀音ト云。千手觀音ニテ。坐像長一尺五寸。左右ニ不動毘沙門ヲ置リ。共ニ毘首羯摩ガ作ニシテ。逸海ノ感得セシ像ナリ。不動毘沙門ハ。元護摩堂ノ本尊ナリシヲ。イツノ頃ヨリカ此ニ並ベ安セリ。寺傳ニ云。養

老年中僧逸海ト云シモノ草創シ。始ハ正法庵ト
號シテカリソノ草庵ナリシヲ。大同元年。田村
麻呂利仁將軍再興セシヲモテ。利仁山ト唱ヘシ
ヨシ。後比企判官能負再興シ。又天正二年。僧榮俊
トイヘルガ中興開基セリト。按ニ田村麻呂利仁
將軍ハ二人ナルヲ。一人ノ如クイヘルハ訛レリ。
坂東靈場記等ニヨルニ。養老年中。僧逸海此堂ヲ
草創セシヲ。後田村麻呂及ヒ利仁將軍十ド再興
セシトイヘルナルベシ。又云坂上ノ將軍東征ノ
時。此觀音ノ堂前ニ通夜シ。惡龍ヲ射斃セシコト

アリ。頃シモ六月ノ始。金ヲ蕩ス炎暑ニ。倏チ指ヲ
落スノ寒氣起リ。積雪尺ニ餘リシカバ。人夫燎ヲ
焼テ雪中ノ寒氣ヲ凌シト。今近郷六月朔日。家毎
ニ燎火ヲ焼クハ。其時ノ名残ナリト云。彼惡龍退
治ノ事蹟信ズベキニハ非レドモ。姑ク傳ノ一、
ヲ記セリ。彼ノ功全ク此觀音ノ利生ナレバトテ。
伽藍建立ノ宣旨ヲ賜リ。大坊衆徒凡テ六十餘院
ヲ造營セリ。後三百餘歳ヲ經テ。堂舎零落ニ及ベ
リ。兼テ將軍賴朝信仰アリシ志ヲ嗣テ。二位禪尼
モ歸依淺カラズ。正治二年。殿堂再造有テ。一山舊

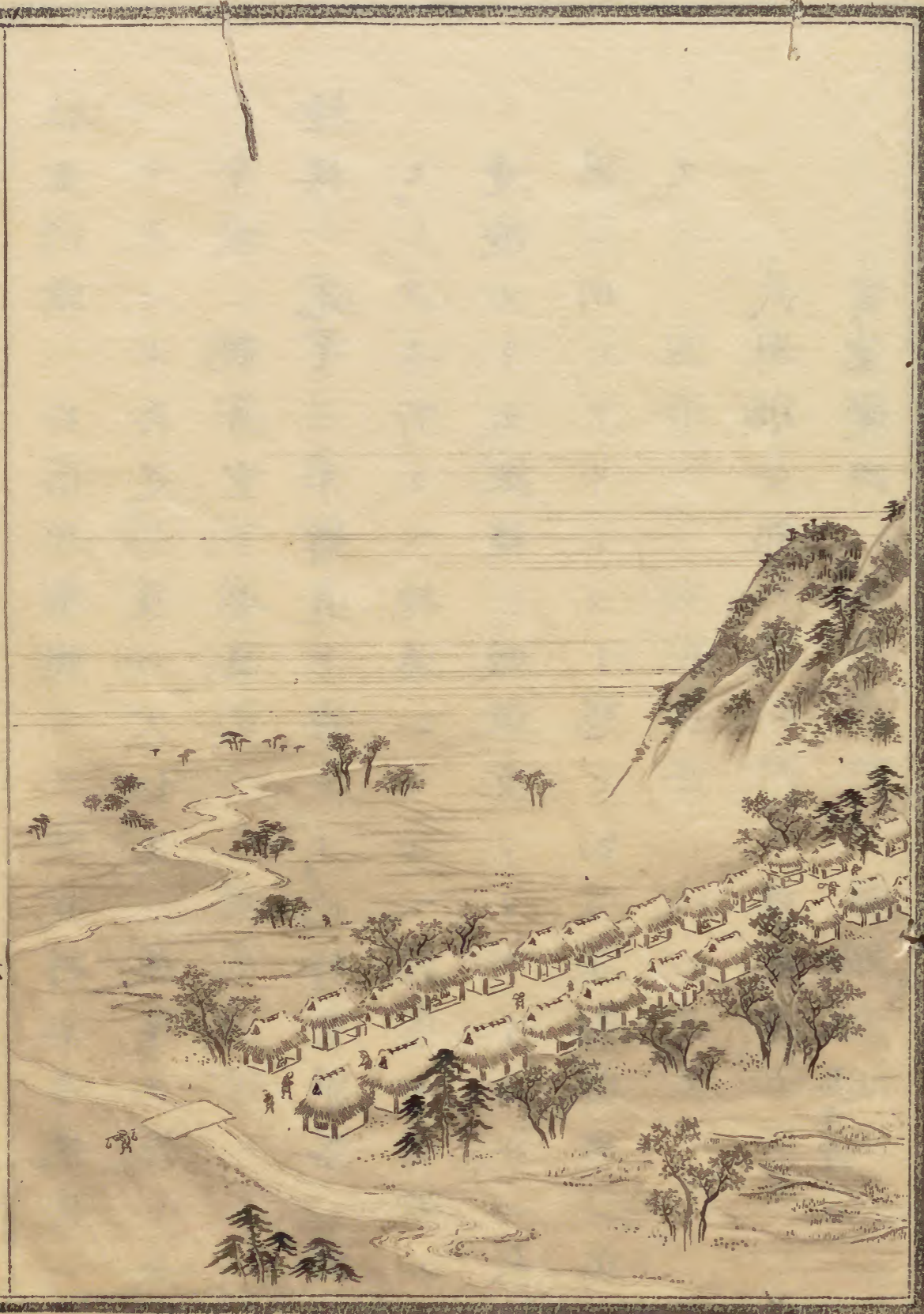
觀ニ復セリ。サレバ九衛門督入道覺西ヲシテ。此
堂ノ別當ヲ兼帶セシメ。覺西滅後衆徒等追福ノ
爲ニ建タル古碑。昔ハ別當正法寺ノ側ニアリシ
ガ。今ハ斷碑トナリテ。ヤウヤク年號等ノ數字見
エタリ。全躰ナリシ時ノ寫ト云モノ。別當所ニ藏
ス。其文ニ。

梵字

奉為當先別當左金吾禪門覺西
正嘉元丁巳八月彼岸第三岩殿寺
出離生死證大菩提所奉造立如件

衆徒
敬白

按ニ岩殿觀音ハ。相模國ニモアリテ。養老四年。行
基菩薩ノ開基ナリト云。東鑑ニモ岩殿觀音ノコ
ト所々ニ出テ。將軍家信仰アリシ由見エタリ。サ
レド比企ノ岩殿觀音ノコトハ。正治二年ノ條ナ
ドニモサラニ沙汰ナシ。ハルカノ後永祿十年九
月。上田能登守ガ楯籠レル當郡松山城責ノトキ。
兵火ノタメニ。本堂以下坊舎ニ至ルニテコトク
ク灰燼トナリ。縁起古記録ヲモ失ヒタリシヲ。天
正二年。別當榮俊擅越ヲ募リテ舊觀ニ復シ。同キ
十九年二十五石ノ御朱印ヲ附セラルト云。



六

岩殿觀音圖



仁王門蹟 石階ノ半腹ニアリ。天明年中焼失シ
テイニダ再建ニ及バズ。仁王ハ運慶ノ作ト云。
今假ニ觀音堂ニ安置ス。

鐘樓 元亨二年鑄造ノ鐘ナリ。此鐘昔軍器ニ用
ヒ。シバク所々へ持運レシユヘ。銘字モ自然ニ
漫滅スト云。縦横ニ瑕數多アリテ。イカサニ兵
器ニ用ヒタリシコト想ヒ知ラル。銘文左ニ出
ス。

武州比企郡
貫主覺阿

岩殿寺
三尺五寸鐘一口

右願主 沙弥道阿 藤原氏女
旦那 沙弥心阿 布敷氏女
旦那 沙弥道善 山口氏女
尼法阿

大工
元亨二年卯月九日
助成 沙弥道阿 藤原氏女

紀重
紀弘吉

經藏

明板ノ一切經ヲ藏ス。萬治三年九月。水野

石見守忠貞カ寄納スル處ナリ。經文目錄ノ末
ニ。奉納シタル顛末ヲ畧記ス。其文ニ。

右總目所載明本大藏經壹部。為帙二百一十
三。為冊一千五百五十五。奉納武州比企郡岩
殿山千手觀音菩薩之寶前。余生長此郡。自幼
齡常拜詣精藍。敬信靈威。今守職十有餘歲。故
求全經於中華納之云。

萬治庚子九月 從五位下水野石見守源忠貞

八王子權現社 此社ハ古キ鎮坐ナルニヤ。下ニ

載タル。天正三年上田案獨齋ガ出セシ制札ニ。

岩殿八王子山下見エタリ。今モ本堂ノ後ヲ八

王子野トモ呼ベリ。

藥師堂

阿彌陀堂

愛宕社 此社邊ヲ愛宕山下唱フ。

山王社 コレモ社邊ヲ山王山下云。

雷電社 爰モ社邊ヲ雷電山下名ツク。

天神社

七社權現 稻荷 荒神 此三所ノ神躰。今ハ觀

音堂内ニ置タレド。山中荒神谷十下云名アル
ニヨレバ。古ハ各處ニ社建タリシト見ユ。
龍堂 昔ハ堂アリシニヤ。今ハ山中ノ小名ト十
レリ。コノ山ノ頂ニ。天正十年水野某ガ西國關
東秩父札所觀音ノ順拜供養塔アリ。又俊意法
師ト彫タル青石ノ断碑アリ。此俊意ハ同郡飯
島村正徳寺ノ開山ト同人十ルニヤ。サモアラ
バ。天文三年九月十一日寂セシヨシ傳ヘリ。
別當正法寺 新義真言宗。醍醐無量壽院末。岩殿
山修善院ト號ス。昔ハ岩殿寺トイヘリ。釋迦ヲ

内佛ニ安置ス。古文書四通ヲ藏ス。

^再 法衣大業
系法（？） 向及以造米宅
（？） 刻為亦菊徒眼
恣（？） 刻不（？） 役人未（？）

文何如件

天正九年十二月廿二日長門守

此卷是反

割商坊

系

共札

若原八王子山に於て本を

かりきり申す。其れ毎々判

子と云ふ如件

+

乙

去平去 弟相



美 獲在案

買及定

一 次是坊知若務。坊決及四塊
中。原中。亦之。每。月。形。洋。

西元未及。至。並。決。及。抄。見
之。上。沙。拍。卷。之。以。但。友。人。指
致。建。作。有。了。事。

一 公。上。亦。亦。親。者。貴。酒。糧。以
下。海。軍。之。上。拉。動。特。別。由
坊。再。所。中。一。少。之。亦。亦。
儀。就。之。上。亦。亦。亦。亦。

多為友人...
一...
...
...

...
...
...

...

...

...

...

...

...

一放火車

一收火車

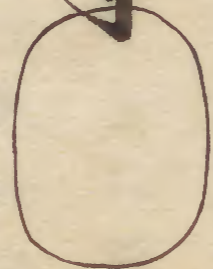
右條白 沖米少平 音 墨 左

仍年行 有 拉 邊 犯 桂 賢 以

致 系 少 有 好 也 依 伴 執

連 女 伴

丁酉年九月日 總 承 守



塔頭四

般若坊

威德寺

是心坊

慶雲寺

長松寺 新義真言宗。正法寺門徒十リ。不動ヲ本尊
トス。

毛塚村

毛塚村ハ江戸ヨリ十三里。庄名前村ニ同ジ。家數九
十軒。東ハ宮鼻村ニ接シ。南ハ越邊川ニ限リテ。入間
郡嶋田村。西ハ田木村ニテ。北ハ元宿村十リ。東西五
丁許。南北十丁。常ニ水旱ヲ患フ。越邊川ノ水ヲ田木
村ヨリ引テ用水トス。御入國ノ後横田次郎兵衛
ニ此地ヲ賜リ。寛永十六年。檢地セシ後。一族横田甚
右衛門ニ分テ。是ヨリ二人ノ知行トナレリ。寶永四
年ニ至リ。又次郎兵衛ノ知行ノ内ヲ割テ。有馬宮内。

内藤日向守ニ賜リ。今ハ横田甚右衛門。同源太郎。有馬千之助。内藤主膳ノ知ル所ナリ。

高札場ニケ所。一ハ甚右衛門ノ知行ニテ。村ノ北ニアリ。一ハ村ノ中程ニアリテ。源太郎ノ分ナリ。

小名

香佛寺 カウブジ

寺蹟ナリヤ傳ヘハ失ヘリ。

大黒部 オホクロベ

宮鼻村ノ地ト犬牙セリ。

越邊川 ヲツヘ

村ノ南ニアリ。川幅前村ニ同ジ。

神明社

村ノ鎮守ナリ。田木村慈眼寺持。

天神社

龍圓寺持。

龍圓寺

新義真言宗。岩殿村正法寺末。愛宕山ト號

ス。本尊不動ヲ安ス。

愛宕社

薬師堂 龍圓寺持。

田木村

田木村ハ江戸へノ里數。及ヒ庄名檢地ノ年代前村
ニ同ジ。村ノ四境。西ハ石坂村。北ハ宮鼻。元宿ノ二村
ニテ。南ハ越邊川ヲ越テ入間郡吉田村。東モ又同川
ヲ隔テ、島田村ナリ。東西十八丁。南北十丁許。村内
ニテ。塚ヲ埋メ。越邊川ノ水ヲ引来テ當村及ビ毛塚
宮鼻三ヶ村ノ用水トス。人家六十三。往古ノ領主ヲ
傳ヘズ。寛永十六年。横田次郎兵衛ニ賜ハリ。後分家
横田甚右衛門ト二給ナリシガ。寶永四年。次郎兵衛

ガ領地上リ。鈴木某ト渡邊源兵衛トニ賜ヒ。今其子
孫横田源太郎。鈴木善八郎。渡邊八三郎等知行ス。又
村ノ西ニ當リテ少許ノ新田アリ。延享四年。神尾若
狹守檢地シテ御料所トナレリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。モトハ給毎ニアリシガ。
漸々ニ廢シテ今ハ一ヶ所殘レリ。

越邊川 村ノ南ヲ流ル。川幅十八間許。

小田原明神社 村ノ鎮守ナリ。祭神詳ナラズ。慈眼

寺持。

諏訪社 妙安寺持。

稻荷社 同寺持。

慈眼寺 新義真言宗。入間郡上野村醫王寺末。普門

山知觀院ト云。本尊不動ヲ安ス。中興ノ開山ヲ秀

榮ト云。元祿四年示寂ス。

鐘樓 正徳四年鑄造ノ鐘ヲ掛ク。

妙安寺 日蓮宗ニテ甲斐國身延久遠寺ノ末。常祐

山ト號ス。本尊釋迦ヲ安ス。開山ヲ日法ト云。

鐘樓 貞享元年十一月鑄造ノ鐘ヲ掛ク。銘文中

考證トスベキナシ。

大日堂 村持

石坂村

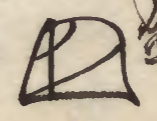
石坂村ハ江戸ヨリ行程十四里。コ、モ庄名ハ前村
ニ同ジ。領ハ松山ニ属セリ。朽木某所藏。建治三年。元
徳年中。等ノ文書アリ。其間解シ難キコトアレド。當
所ハ池大納言頼盛ヨリ。河内次郎顯盛ニテ傳來セ
シ知行ナリシヲ。外戚ノ因アレバ。朽木兵庫助時綱
ガ子。朽木万壽丸ニ與ヘレコト知ラル。万壽丸ハ後
出羽守經氏トイヘリト。

駿河彦四郎有政与姉平氏号於鶴相論亡父時

中うしるあり。此つらうを物と。久い
といさうてんしそらねをちさ中う
すし。仍如此件。

元徳元年九月三日

平政監



任付状のと陶器の由。依作の如

此件

元徳元年九月三日

左与権政局

相模守

民家五十四。外ニ長吏ノ家三十アリ。東ハ田木村ニ
隣リ。西ハ赤沼村。北ハ岩殿村ニテ。其境ニ塚アリ。南
ハ越邊川ヲ隔テハ。和田。澤木。金田ノ數村ニ接ス。東
西一里程。南北ハ夫ヨリ短シ。用水ハ赤沼村境ヨリ
引来テ田間ニ沃ゲリ。前村ト同ク横田次郎兵衛。横
田甚右衛門等ガ采地ニシテ。檢地ノ年代前村ニ同
ジ。後延寶七年。新開ノ地アリシ處ハ。兩家ノ知行ト
ナリ。夫ヨリ引續キ今其子孫甚右衛門。及ビ源太郎
等知行ス。
高札場 西ノ方ニアリ。

小名

池田

唐澤

立野

大下オホシモ

與一山ヨイチサン

石坂山 岩殿村ノ内。觀音ノ後ノ山ヨリ四五丁ヲ

隔テ、當村ノ内ニアレド。入間郡和田。澤木。金田。

今西北淺羽。戸口。牛久保。新堀。竹之内。小山。堀込。塚

崎。中里。峯。大塚。吉田。新谷十七村入會ノ秣場ナリ。

越邊川 赤沼村ヨリ入田木村ニ沃ゲリ。

十郎淵、丸淵トモ云。昔金子十郎此邊ニ隱栖シ訛

テ馬ヲ此淵ニ乗込シコトアリシ故名トセリト。

今ハ熊井奥田邊ヨリノ悪水落シニテ。末ハ越邊

川ニ合セリ。

愛宕社 村ノ鎮守ナリ。休山寺持。

白髭社

稻荷社

天神社

神明社

山神社 以上村民ノ持。

兒淵八幡社 コレモ村民ノ持。岩殿村正法寺ノ兒

故アリテ此邊ノ淵ニ溺死セシヲ葬リ。塚ヲ築キ

八幡ニ崇メリ。

休山寺 禪宗曹洞派。入間郡龍ヶ谷村龍穩寺ノ末。
石坂山ト號ス。本尊釋迦。相傳フ當寺ハ。昔甲州ノ
士山形三郎兵衛昌景戰死ノ後。其婦入土木ノ功
ヲ費シ。夫昌景菩提ノ為ニ草創セシト。位牌ニ休
山賢公大禪定門。天正三年五月廿二日トアリ。當
寺ノ號ハ。此法謚ヲトリシコト知ベシ。サレド甲
斐國龜澤村天澤寺ニ安スル。昌景ガ牌子ニハ。好
雲喜公禪定門トアリ。開山ハ本寺十四世太鐘。慶
長十九年正月廿八日寂セリ。

鐘樓 鐘ハ延寶五年ノ鑄造ナリ。

觀音堂 十一面觀音ナリ。

赤沼村

アカヌ

赤沼村ハ江戸ヲ去ルコト十六里。領名前村ニ同ジ。
村ノ四隣。東ハ石坂村ニ隣リ。南ハ今宿。及ビ越邊川
ヲ隔テ入間郡北淺羽村ニ境ヒ。西ハ大豆戸村。北ハ
今宿ノ條ニイヘル。七ヶ村入會ノ秣場ニ接セリ。東
西二十四丁餘。南北十九丁許。民家七十五。昔ハ御料
所ニテ。寛文四年。内藤式部少輔ニ賜ヒ。寶永元年ニ
又御料所トナリ。正徳元年。村内ヲ割テ米津大膳ニ
賜ヒ。同二年。其残りシ所ヲ又分テ。森某ト羽太八

郎右衛門トニ賜リ。猶其餘ハ御料所ナリシヲ。享保十九年ニ大岡出雲守ニ賜ヒ。四給トナリ。今モ其子孫ノ知行所ナリ。檢地ハ貞享元年。内藤式部少輔紀セリ。高札場ニケ所。一ハ村ノ坤ノ方。一ハ村ノ東ニアリ。

小名

ニラ澤

色原 イワハラ

涼之堂

築山

越邊川 村ノ南ヲ流ル。

氷川社 村内ノ鎮守ナリ。寶藏院持。

雷電社 密藏院持。

八幡社 朝日八幡ト號ス。村民持。

愛宕社 寶藏院持。

稻荷社 櫻木稻荷ト云。村民持。

圓正寺 禪宗曹洞派。豊島郡赤塚村松月院末。天正

十九年。寺領五石ノ御朱印ヲ賜フ。寶陀山ト號

ス。開山僧大震須高。寛永八年九月十二日寂ス。本

尊正觀音ヲ安ス。外ニ良辨ノ作不動ヲ安ス。是ハ

元文ノ頃時ノ住僧。秩父郡吉田村金剛院ヨリ授

受レテ當寺ニ安ス。

鐘樓 鐘ハ天明三年ノ鑄造ナリ。

天神社

寶藏院 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺末。氷川

山ト號ス。本尊不動ヲ安ス。開山ハ本寺十七世權

大僧都秀長。寛文七年九月廿五日寂ス。

密藏院 同宗同末ナリ。赤沼山ト號ス。本尊大日ヲ

安ス。開山權大僧都榮瑜。延寶九年八月十八日示

寂ス。

天神社

稻荷社

觀音堂 十一面觀音ヲ安ス。

今宿村 イニシラ

今宿村ハモト赤沼村ノ内ナリシガ。後ニ分レテ別
村トナレリ。元禄ノ圖ニ始テ載セタレバ。其以前ノ
コトナルベシ。江戸ヨリノ行程十四里餘。領名前村
ニ同ジ。村ノ四境。東南ハ越邊川廻リ。對岸ハ東ノ方
石坂村。及ビ入間郡北淺羽村。南ハ苦林村ナリ。西モ
亦同郡小用村。及ビ當郡大豆戸村ニ取ヘリ。東西十
三丁。南北三丁許。民家四十連住シテ宿驛ニ似タレ
ド。馬次ノ所ニモアラズ。少ノ河岸場アリテ近郷ノ

材木薪等ヲ爰ニテ筏トシ。江戸へ出セルヲモテ土
地賑へリ。分村ノ後ハ御料所ナリシガ。元禄十七年
三月。日比野七郎右衛門ニ賜ヒ。今モ其子孫知行ス。
飛地入間郡北浅羽村ノ内ニアリ。
高札場 村ノ中央ニアリ

小名

假宿 カリシエク

榎ノ下

淵ノ上

辻

西裏

花藏寺 ハナゾウジ

糶谷 カウシヤ

イラ原

下河原

越邊川 村ノ東南ヲ流ル。郡中へ係ルコト當村ヲ

始トス。

秣場 當村及赤沼。川角。市場。大豆戸。下熊井。大橋七
村入會ノ秣場ニシテ。赤沼。大橋兩村ト入西十七
ヶ村入會秣場ノ間ニアリ。

熊野社 村ノ鎮守ナリ。

天神社

天王社 以上三社村民持。

吉祥院 本山修驗。入間郡西戸村山本坊配下。寶林
山ト號ス。古ハ加納院ト云シト云。本尊不動ヲ安
ス。

大豆戸村

大豆戸村ハ江戸ヲ距コト十六里。郷庄領ノ唱ヲ傳
ヘズ。入間郡今市村法恩寺年譜録。寶治年中ノ文書
ニ。武藏國吾那入西郡越生郷水口田豆土等。又同國
越生郷臺之屋敷并水口田大豆土等云云。且土人ノ
説ニハ。當村モトハ隣郡小用村ヨリ分チト云。又
小用村ノ傳ヘニ。當村ヲ上越用ト號シ。小用村ヲ下
越用ト稱セシヨシヲイヘバ。昔ハ入間郡ニ屬セシ
モ知ベカラズ。又應永廿四年十月十四日。足利持氏

ヨリ豆州三島社へ寄進セシ文書ニ。武藏國比企郡
大豆戸郷明石左近トアリ。コレヲモ古クヨリ唱へ
シ名ノ證トスベシ。村ノ四境東ハ赤沼村。西北ハ熊
井村。南ハ入間郡小用村ナリ。東西二十丁餘。南北十
丁許。民家六十。御入國後ハ御料所ニテ。寛文四年。
内藤式部少輔ニ賜ヒ。其後畠田甲斐守ト西尾藤四
郎トニ賜ハリ。今其子孫知行ス。檢地ハ貞享元年。式
部少輔領分ノ時紀セシト云。
高札場 村ノ東ノ方ニアリ。
小名

相ノ田

屋敷内

三島社 當村モトハ伊豆三島ノ神領ニテアリシ
故。勸請セシモノト見エタリ。慶安二年。社領十二
石ノ御朱印ヲ賜フ。村内ノ鎮守ニテ。毎年九月
流鏑馬ヲ興行ス。本地薬師ノ畫像ヲ掛ク。真光寺
持。
八幡社 村民持。
真光寺 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺末。西明
山法輪院ト號ス。本尊大日ヲ安ス。又弘法大師真
筆不動ノ畫像一軸アリ。普通ノ畫ハ矜伽羅制多

伽相向テ立リ。是ハ二像トモ不動ト同ジムキニ
テノツラレキ像ナリトテ秘藏セリ。

愛宕社

龍光院 同寺ノ門徒。蓮華山ト號ス。名主柳七が先

祖龍光坊トイヘルモノ一寺ニ取立シ故ニ其名

ヲ取テ院號トセリ。本尊不動ヲ安ス。

觀音院 寶曆年中理觀トイヘルモノ建立スト云。

近キ頃江戸湯島靈雲寺ノ末トナリ。五輪山ト號
ス。本尊正觀音ヲ安ス。

奥田村 オクダ

奥田村ハ松山領ニ属セリ。江戸ヨリノ行程ハ前村
ニ同ジ。民戸二十一。村ノ四坂。東ハ神戸。岩殿ノ二村
ニ境ヒ。南ハ大橋村ニ接シ。西ハ須江村ニシテ。北ハ
將軍澤村ナリ。東西八丁。南北へ五丁。昔ハ御料所ニ
テ。寛文四年ヨリ。内藤式部少輔知行トナリ。貞享元
年。時ノ地頭檢地セリ。寶永元年。再ビ御料所トナリ。
同四年半ヲ裂テ松平氏ニ賜ヒ。殘ル地ハ同五年。堀
氏ニ賜リシヨリ。一圓ニ私領トナリ。今子孫松平十

藏。堀主馬ノ知ル所ナリ。

高札場ニケ所 一ハ東南ニアリ。一ハ中程ニアリ。

小名

東圓寺蹟 寺蹟ナルベケレド詳ナラズ。

氷川社 村ノ鎮守ニテ村民持。

地藏堂 西方須江村境笛吹峠ノ入口ニアリ。羽黒

堂トモイヘリ。小堂ニテ石ノ地藏ヲ安ス。村民ノ

持。往古此邊曠原ニテ。ソコへ上ルナダレノ道則

笛吹峠ナリ。此邊塚十一アリ。土人云骸骨ヲ埋ミ

シ塚ニテ。近キ頃ニテモ雨夜ニハ冥火燃シ故人

人驚駭シ。塚毎ニ地藏ヲ建テ、追福セシカバ。冥

火起ルコトナシト云。峠ニ塚ニツアリ。塚上ニ松

樹アリ。茶臼塚ト云。又羽黒堂トイヘルハ齒ヲ黒

メタル大將ノ首ヲ埋メシ故ナリト。又説ニ出羽

國ノ人ヲ葬リシ故羽黒山ノ縁ニトレリト。或ハ

士卒ニハグレ討レシ者ヲ埋メシ故。ハグレ塚ト

イヒシヲ誤リ唱フルナリト。何レモ信ズベキコ

トニハ非ルベシ。按ニ太平記正平七年閏二月廿

八日。武藏野合戦敗レテ。義宗上野皇子ヲ笛吹峠

ノ城ニ入奉ル云云トアリ。此峠ヲゴ、ノコトナ

リトモ傳レド。同書ニ新田武藏守ハ將軍ノ御運
ニ退緩シテ。石濱ノ合戦ニ本意ヲ違セザリシカ
バ。武藏國ヲ前ニ十シ。越後信濃ヲ後口ニ當テ。笛
吹峠ニ陣取テゾオハシケル云云トアリ。此地ヲ
云ヒシナランニハ。武藏國ヲ前トハ云ベカラズ。
コレ等ノコトヲモテ考レバ。太平記ニ載ル處。笛
吹峠ハ此地ニハアラデ。上野國碓日峠ノコト十
ルベシ。笛吹ヲウスイト訓セシ所以ハシラズ。

神戸村 カウド

神戸村ハ江戸ヨリ行程十二里。亀井庄ニ屬ス。領名
前村ニ同ジ。村名ヲ按ニ。古伊勢御厨十ドアリシ所
ニヤ。四隣。東ハ都幾川ヲ限リテ。下唐子村ニ界ヒ。南
ハ岩殿村。西ハ將軍澤。根岸ノ二村ニシテ。北モ都幾
川ヲ隔テ上唐子村ニ隣レリ。東西へ二十丁。南北十
五丁餘。家數百軒。土人農間ニハ蠶ヲ養テ餘業トス。
用水ハ都幾川ノ水ヲ引汰ゲリ。當村正保ノ頃ハ松
平備前守采地ナリシガ。イワノ頃ニヤ上リテ荻原

近江守ニ賜リ。元禄十一年替リテ。松平美濃守。大久保四郎左衛門二人ノ采地トナリ。其後正徳三年。美濃守ノ領地ハ上リテ。黒田豊前守ニ賜フ。享保十三年。大久保某ハ地ヲ裂テ同氏齋宮ガ祖先ニ分地ス。今黒田豊前守。大久保四郎九衛門。同齋宮等三給ノ地ナリ。

高札場三ヶ所 三給ノ地ニ分ナ立リ。

小名

澤田

天王

小臺

羽黒

都幾川^{トキ} 村ノ北ヨリ東へ屈曲シテ流ル。河原幅百

間餘。水除ノ堤ヲ設ク。又乾ノ方ニ坎樋アリ。此川ヲ分水シテ當村。及ビ下唐子。葛袋三ヶ村ノ用水トス。

氷川社 村内ノ鎮守トス。

天王社 以上二社共善能寺持。

山王社

稻荷社 已上二社共宮本院持。

愛宕社

稻荷社 已上二社共真如院持。

妙昌寺

日蓮宗。下總國葛飾郡真間弘法寺末。青鳥

山ト號ス。古ハ近村石橋村ノ内。今ノ小名青鳥ニ
アリシガ。天文年中此地ニ移リシト云。當寺草創
ハ弘安四年ニシテ。開山日仙ハ。元徳二年十月廿
二日示寂ト云。本尊三寶ヲ安ス。
鐘樓 寶永元年鑄造ノ鐘ヲカク。

長慶寺 新義真言宗。山城國醍醐三寶院末。澤田山
修造院ト號ス。中興開山清印ハ。元禄五年七月十
日寂セリ。本尊彌陀ヲ安ス。

賢性院 前寺ノ末。瑠璃山ト號ス。中興開山俊英。元
禄四年九月朔日寂セリ。本尊彌陀ヲ安ス。

善能寺 新義真言宗。入間郡堂山村最勝寺ノ末。天
王山ト號ス。本尊彌陀ヲ安ス。

宮本院 當山修驗。江戸青山鳳閣寺ノ配下。本尊不
動ヲ安ス。

真如院 同派同配下。本尊モ同ジ。
藥師堂 前院ノ持。

根岸^キ村

根岸村ハ江戸ヨリ行程十六里。庄名前村ニ同ジ。領
ハ玉川ニ属セリ。村名ハ正保頃ノモノニハ。祢宜子
ト書タレド。コハタヘク假借シテ書シモノニテ。昔
ヨリ根岸ノ字ヲ用ヒタルト見エタリ。或書ニ。熊谷
次郎直實ガ末孫佐渡守實勝六代ノ孫。佐渡俊直ト
云入。武藏國比企郡根岸村ニ住シ。同國松山ノ城主
案獨齋^{家譜ニ作ル。}礫齋^{暗ニ属シ。}根岸村及ヒ和泉村ヲ知
行ストアリ。家數十。東ハ神戸村。南ハ將軍澤村。西

ハ大藏村ニテ。北ノ一方都幾川ヲ限リテ。上唐子村ニ界ヘリ。東西ヘ一丁半。南北ニ丁許。村内ノ溜井ニ天水ヲ湛テ用水トスレド。早損ノ年多シト云。御入國ノ後ハ御料所ニシテ。寛文八年。時ノ御代官深谷喜右衛門檢地セリ。其後イツノ頃ニヤ。島田某ニ賜リ。今モ子孫島田藤十郎知ル所ナリ。

小名

我妻山

レトノ山

日向

坂ノ上

傾城谷

高札場 村ノ中程ニアリ。

都幾川 村ノ北ニアリ。河原幅二百間。此川ヨリ南

ノ方岡ノ裾通りニ一條ノ小流アリ。其間四淵。女

淵。袈娑王淵十ド唱フル所アリ。是古ノ都幾川ニ

テ。今ノ流ハ後來川瀬ノ替リタルナリト云。

神明社 村ノ鎮守ナリ大藏村安養寺持

三寶荒神社 同寺ノ持。

観音堂 如意輪観音ヲ安ス。同寺ノ持。

大藏村 オホクラ

大藏村ハ江戸ヨリノ行程前村ニ同ジ。大藏郷ニ属シ。領名モ亦前村ニ同ジ。昔帯刀先生義賢ガ武州大藏ノ館ト聞エレハ當所ニテ。其舊蹟今ニ存レテ慥ナルコトナレバ。久壽ノ頃ヨリ唱ヘレ地名ナルコト論ナシ。民戸七十餘。東ハ根岸村。南ハ將軍澤村。西ハ鎌形村ニテ。北ハ都幾川ヲ隔テ、千手堂。菅谷。上唐子ノ三村ナリ。東西八丁。南北六丁。正保ノ頃ハ御料所ニシテ。檢地ハ夫ヨリ前寛永三年アリシニ。後

次第ニ新田ノ地開ケシハ。萬治三年。寛文八年。天和二年ノ三度時ノ御代官糺セリ。元禄四年地ヲ裂テ。石黒某ニ賜ハリ。残ル御料ノ處ハ。寶曆十四年。清水殿領知トナリシヲ。寛政九年。再ビ御料トナリ。今モ替ラズ。

高札場ニケ所 御料私領ノ二所ニ分チ建リ。

小名

堀ノ内

木ノ宮

御所ケ谷戸

柏田

入鹿

遠山ケ谷戸

頃城久保

地尻

粟津ケ原 不逢ケ原共

都幾川 北端ヲ流ル。川幅二百間。

山王社 村ノ鎮守ナリ。社領十石ハ慶安年中賜ハ

レリ。

別當安養寺 天台宗。下青鳥村淨光寺ノ末。大乘

山寂光院ト稱ス。本尊阿彌陀ヲ置リ。開山廣覺。

應永元年草創トノミ傳ヘリ。サレド是等ニ據

レバ。山王社モ舊キモノナルベシ。

天神社

愛宕社

天王社

神明社

稻荷社

諏訪社

神明社

向徳寺

へり。

號ス。

トナリシニ。

二年十二月十五日寂セリ。

ヲ用ヒタルニ似タレバ。

ルベシ。本尊三尊阿彌陀。惠心僧都ノ作ナリ。

鐘樓 鐘ニ元文五年鑄造ノ銘アリ。

熊野社 稻荷社

古城蹟 村ノ西方ニアリ。方一丁許構ノ内ニ稻荷

社アリ。今ハ大抵陸田トナレリ。カラ堀及ビ塘ノ

蹟ノコレリ。此ヨリ西方ニ小名堀ノ内ト云アリ。

昔ハ此邊ニテモ構ノ内ニテ。帯刀先生義賢ノ館

蹟ナリト云。サレド東鑑ニ義賢ハ久壽二年八月

武藏國大倉館ニ於テ鎌倉忠源太義平ガ為ニ討

亡ボサルトアリ。此事ハ平治物語百練抄等ニモ

以上安養寺ノ持。

村民ノ持。

時宗。寺領十石。慶安二年ノ御朱印ヲ賜

へり。相模國藤澤清浄光寺ノ末。大福山無量院ト

號ス。開山清阿。寶治二年四月八日寂セリ。後廢寺

トナリシニ。向阿徳音中興セリト云。此僧ハ正和

二年十二月十五日寂セリ。今ノ寺號ハ此僧ノ名

ヲ用ヒタルニ似タレバ。中興ノ時改メシモノナ

載タレド。事實ノ詳ナルコトハ記録ナシ。大藏ト
云地名ハ多磨郡ニモアレド。當所義賢墳墓アリ。
又郡中ニ義賢ニツカヘシモノ、子孫遺ルトキ
ハ。此所義賢ガ舊跡ナルコト疑フベカラズ。

古墳 巽ノ方。村民丈右衛門ガ持ノ畑中ニアリ。相
傳フ帶刀先生義賢ガ墳墓ナリト。高サ三尺許ト
オボレキ塔ナレドモ。半ハ土中ニ埋リ。且五輪モ
缺損シ。其中ワヅカニ梵字ヲ彫リタル五輪ノ内
ノ一石ノミ殘レリ。ソレニ雨覆ヒヲナシ。注連ヲ
引キ土人ハ厄御前ノ碑ナリトイヘド。コレモ定

カラズ。

將軍澤村

將軍澤村ハ江戸ヨリ十六里。玉川郷ニテ。領名ハ前村ニ同ジ。村内ニ利仁將軍ノ靈ヲ祭リシ。大宮權現ノ社アルヲモテ將軍澤ノ名アリト云。上野國世良田長樂寺ニ藏セル文書ニ。

武藏國比企郡南方將軍澤ノ内為燈明達回之匠任家時申置之者所奉寄進世良田御寺也。其於遠亂ノ輩者永可為不孝。仁仍寄進ノ狀如件。

西安元年八月二日

沙弥静真

世良田長樂寺為修理用途奉永代寄進或為國比
企郡南方將軍澤々内ニ子堀入道跡在家壹宇并
田正延毎年所當八貫文事

右依為氏寺為末代修況永代奉寄進者也然者
及子孫不之致遠祖背此之旨輩若永可為石孝
仁乃自筆之状如件

元德二年八月二日

源滿義

靜真ハ。世良田三河前司ノ子。二郎教氏ノ法名ナリ。
滿義ハ。教氏ノ孫。彌次郎滿義ナリ。コレニ據レバ古

へ世良田氏ノ所領ニシテ。長樂寺ニ寄附セシコト
知ルベシ。文中南方將軍澤々ト記セシハ。往古郡中ヲ
南北ニツニ分キシ故ノコトニテ。已ニ總説ノ條ニ
辨ゼリ。民戸十九。東ハ神戸村。南ハ須江。奥田ノ二村
ニ隣リ。西ハ鎌形村ニテ。北ハ大藏。根岸ノ二村ナリ。
東西五丁餘。南北十丁餘。天水ノ地ニシテ旱損アリ。
御入國ノ後ハ御料所ナリシニ。元禄十一年。村内ヲ
割テ大島氏ニ賜ハリ。今モ子孫大和守知ル所ナリ。
殘レル御料ノ地ハ。寶曆年中清水殿領知トナリ。後
再ヒ御料トナリ。今御代官支配セリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

高代ツカシロ

鶴巻

三段田

ラウス塚 茶臼塚トモイヘリ。

山王社 村ノ鎮守ナリ。明光寺持。此邊二丁許ノ松林アリ。不漆ソノダノ森ト云。

大宮権現社 高廿三尺許ノ塚上ニアリ。利仁將軍ノ靈ヲ祭レリ。相傳フ昔藤原利仁此地ヲ經歷レテ。此塚ニ腰掛テ息ヒシコトアリシ故カク號ス。ト云。明光寺持。

神明社

愛宕社

稻荷社

何レモ明光寺持。

明光寺

天台宗。下青鳥村淨光寺ノ末。豎横山醫庵

院ト號ス。本尊藥師ヲ安ス。開山明海寂年ヲ傳ヘ

ズ。

愛宕社

鎌形^{カガタ}村附持添新田

鎌形村ハ鎌形郷大河原庄松山領ニ属ス。江戸ヨリ
ノ行程ハ前村ニ載ル處ト同ジ。民戸百三十六。東ハ
大藏村。南ハ須江。竹本ノ二村ニ境ヒ。西ハ田黒村ニ
接シ。又槻川ヲ隔テ青山村ニ隣レル處アリ。北ハ千
手堂管谷ノ両村ナリ。東西二十丁。南北二十四五丁。
用水ハ都幾川ヲ引来テ田間ニ沃ゲリ。正保ノ頃ハ
御代官所ニテ。寛文八年曾根五郎左衛門檢地セリ。
後元禄十一年。金田周防守ガ采地ニ賜ハリ。夫ヨリ

引續子孫主殿知ル所ナリ。此餘持漆新田アリ。元
文五年。芝村藤右衛門。明和五年。宮村孫左衛門。文化
六年。淺岡彦四郎等檢地ス。

高札場ニケ所 南北ニ分テリ

小名

上原

鹽澤

植木山

鹽山 西方ニアリ。上リ四五丁。

槻川 村ノ北ノ方ヲ流ル。川幅十五六間。砂利川十

リ。田黒村ヨリ入村内ニテ都幾川ニ合セリ。

都幾川 坤ノ方ヲ通セリ。氷幅三十間餘。此川ニ漆

テ堤アリ。

清水 村ノ南ノ方ニアリ。竹藪ノ間ヨリ涌出セル

小流ナリ。木曾殿清水ト呼ベリ。早魃ニモ水涸ル

ルコトナシト云。又此邊ヲ木曾殿屋敷トモ呼ベ

リ。此邊總テ六ヶ所ノ清水アリシガ。今ハ其形モ

残ラス。猶八幡社ノ條ニモ載セタリ。

八幡社 村ノ鎮守ニシテ。又田黒村玉川郷等ノ産

神ナリ。天正十九年。社領二十石ノ 御朱印ヲ賜

ハリシニ。寛文四年焼失セシガ。貞享二年。再ビ

御朱印ヲ賜ヘリ。正徳年中ニ當住某ガ記セル社

傳アリ。其中ニ延暦十二年坂上田村麻呂。勅命
ヲ蒙リ。東奥ノ夷賊退治トシテ。關東ニオモムキ
シトキ。當所塩山ニ勸請セリ。相續テ伊与守頼義。
八幡太郎義家モ東征ノミギリ所願ヲコメ。其後
義賢。義仲。頼朝。尼御臺所等信仰浅カラズ。神田若
干ヲ寄セラレ云云。又義仲誕生ノハジメ。七箇所
ノ清水ヲ挹テ産湯ニ用ヒシト云。此七ヶ所ノ清
泉今ハ大抵廢セリ。又當所ノ鐘ハ軍旅ニ奪ハレ。
秩父郡御堂村淨蓮寺ノ寶器トナリタレバ。今ハ
鐘ナシ云云等ノコトヲ載セタリ。サレド彼鐘銘

ニ。上州綠野郡板倉郷圓光寺鐘正慶二年癸酉三
月云云及武州比企郡釜形郷八幡宮鐘大檀那矢
野安藝守文明十一年己亥八月九日ト云ヲエリ
タレバ。元ハ上野ニアリシヲ。當所へ持来リ。又秩
父郡へ轉ゼシトラン。サハアレ古社ノ證ト八十
スベシ。又銅葦蔓ニツテ神寶トス。一ハ圓徑五寸
五分。彌陀ノ坐像ヲ鑄出シ。傍ニ安元二丙申天八
月之吉清水冠者源義高トアリ。一ハ圓徑四寸八
分。藥師ノ坐像ヲ鑄出シ。右傍ニ貞和四戊子年七
月日大工兼泰トアリ。右傍ニ四ノ文字アレド。磨

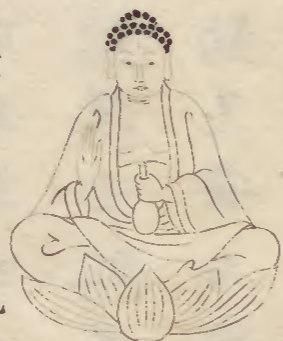
缺シテ讀得ズ。當所ニ置ルユエンハ傳ヘズ。華蔓
ニ圖九ニ載ス。

奉納八幡宮密弁



安元二丙申天八月之吉
清水冠者源義高

澁河雨寸



貞和四戊子年七月日 施主
大工兼泰

別當大行院 本山修驗。幸手不動院ノ配下ナリ。
鎌形山真福寺ト號ス。開山榮長寂年ヲ傳ヘザ

レド。御堂村淨蓮寺。文明十一年ノ鐘銘ニ。永運
榮海ノドアルモ當院世代ノ内ナリト云ヘバ。
舊キコト推テ知ルベシ。

櫻井坊 大行院ト同ク不動院ノ配下。大聖院ト
稱ス。中興清傳。天正三年寂ス。本尊不動ヲ安ス。
石橋坊 コレモ不動院ノ配下。開山源慶。大永元
年寂セリ。本尊不動ヲ安ス。此二坊ノ本山大行
院ト同ジケレド。今ハ大行院ニ屬シテ配下ノ
如シ。

藥師堂

瀬戸明神社 村民持。

班溪寺 禪宗曹洞派。人間郡越生龍穩寺ノ末。威德
山下號ス。本尊釋迦ヲ安セリ。開山ハ本寺十六世
鶴峯聚孫。寛永三年十二月十六日寂セリト。サレ
ド當寺ハ清水冠者義高母威德院殿班溪妙虎大
姉追福ノタメニ草創セリ。コハ舊キ人ナレバ。鶴
峯ハ中興ニテ。開山ノ名ハ失ヒシナルベシ。
鐘 享保四年ノ銘ナリ。文中木曾義仲ノ長男清
水冠者義高為阿母威德院殿班溪妙虎大姉創
建所也ト見ユ。

天神社

宗信寺 日蓮宗。下總國真間弘法寺ノ末。經王山ト
號ス。本尊三寶ヲ安ス。開山日法。慶安元年七月十
五日寂セリ。

須江村

須江村ハ領名及ヒ江戸ヨリノ行程前村ニ同ジ。民
戸三十。東ハ奥田村ニ坂ヒ。南ハ大橋村。及ビ下泉井
村ニシテ。西ハ竹本村。北ハ將軍澤。鎌形ノ二村ニ接
セリ。東西八丁餘。南北七丁許。山丘平地ニジハリテ。
用水不便ナレバ。天水ヲ港ヘテ耕植ス。或書ニ據ニ。
往昔當村ハ。矢野伊賀入道善久ト云人領セシニヤ。
建武年中ノ渡狀ト云モノニ見ユ。其文ニ。
武藏國內。矢野伊賀入道善久跡。所領事。

合
 一所 小泉郷 男衾郡内
 一所 須江郷 比企郡内
 一所 片揚郷 足立郡内
 一所 久米宿在家六間 多東郡内
 右任御下文并御施行之旨。奉相渡岩松兵部太
 輔經家跡。御代官頼圓定頼等候畢。依渡状如件。
 建武二年十一月九日 橘行貞判
 下記セリ。此書イヅレノ藏ナルヤ詳テラザレド。須
 江ノ唱ノ古キコト知ラル。御打入ノ後。慶長ノ頃

内藤主馬及が采地ニ賜ハリテヨリ。代々爰ヲ知行
 シ。今子孫吉之助ガ知ル所ナリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

沖中

八丈

播磨川

向田

道山

太鼓臺

矢篠澤

阿彌陀免

黒石明神社 村ノ鎮守ナリ。瑠璃光院持。

愛宕社

稻荷社 同寺持。

長命寺 新義真言宗。今市村法恩寺末。西林山不動
院ト號ス。本尊不動ヲ安ス。開山ハ蓮果ト云。

阿彌陀堂

瑠璃光院 本山派修驗。入間郡西戸村山本坊ノ配
下。須江山光雲寺宮本坊ト號ス。本尊不動ヲ安ス。

藥師堂

田黒村

田黒村ハ江戸ヲ距コト前村ニ同ジ。郷庄領ノ唱ヲ
傳ヘズ。戸數四十五。東ハ鎌形村ニ隣リ。其間ヲ都幾
川流ル。南ハ玉川郷ニ接シ。西ハ五明下里ノ二村ニ
添ヒ。北ハ槻川ヲ限リ。對岸ハ遠山村。及ビ千手堂村
ナリ。東西ノ徑二十丁。南北ハ十五丁。正保ノ頃ハ御
料所ニシテ。寛文八年。御代官堀次郎右衛門檢地セ
リ。後元禄九年。金田周防守ニ賜ハリ。今其子孫主殿
ガ知ル所ナリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

菩提

堂前

小倉

塩山 村ノ東ニアリ。

都幾川 村ノ東ヲ流ル。川幅三十間。

槻川 北ノ方ニアリ。川幅ハ是モ三十間許。

熊野社 慶安二年。社領トシテ五石六斗ノ御朱

印ヲ附セラレ。

別當大福寺 天台宗。下青鳥村淨光寺ノ末。延命

山地藏院ト號ス。開山ソ僧ヲ賢仙ト云。示寂ノ

年代ヲ失フ。本尊地藏ヲ安ス。

地藏堂

山王社 村ノ鎮守ナリ。大福寺持。

八幡社 聖天諏訪ヲ合祀ス。明王院ノ持。下同シ。

神明社

愛宕社

明王院 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺ノ末。西

慶山ト號ス。開山ヲ榮專ト云。寂年詳ナラズ。不動

ヲ本尊トセリ。

地藏堂 村民持。

城蹟 北ノ方ニテ。小名小倉ノ内ニアリ。遠山右衛門大夫光景が居城ノ蹟ナリト云。四方二丁許ノ地ニシテ。東北ノ二方ハ都幾川槻川ノ二流ニ臨之。西南ハ山ニ添ヒテ。頗ル要害ノ地ナリ。光景ハ隣村遠山村ノ遠山寺ノ開基檀越ニシテ。天正十五年五月卒セシ人ナレバ。爰ニ住セシモ元龜天正ノ頃ナルベシ。

竹本村 タケモト

竹本村ハ江戸ヨリ十七里ノ行程ニシテ。亀井庄松山領ニ属セリ。戸數五十。東ハ須江村。南ハ上下泉井村。西ハ玉川郷ニシテ。北ハ鎌形村ニ及ビ。又玉川郷ニ界ヒシ所モアリ。東西ハ二十五丁。南北ハ十五丁。御打入ノ後。久シク御料所ニシテ。寛文中。内藤式部少輔ニ賜ハリ。貞享元年檢地セリ。後元禄十六年。上リテ元ノ御料ニ復セシガ。程ナク寶永二年。日比野七郎九衛門ニ賜ハリ。今子孫七之丞が知ル所ナリ。

り。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

乘輿ヶ谷戸 越前平 衆生ヶ谷戸

法螺ヶ谷 北根 十ガフノ谷

黒石明神社 村ノ鎮守ナリ。東光寺持。

天神社 同寺持。

東光寺 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺ノ末。醫

王山藥王院ト號ス。開山詳ナラズ。法流ノ祖ヲ境

智ト云。賢曆十年化ス。本尊十一面觀音ヲ安ス。

藥師堂 行基ノ作レル藥師ヲ安ス。

八幡社

稻荷社

上泉井村 カミイツヅ

上泉井村ハ江戸ヲ距コト十六里。郷庄領ノ唱ヲ傳
ヘズ。モトハ上下泉井。及ヒ大橋村ヲ通ジテ。凡テ泉
井村ト號セリト。其分村セシハ正保年間ヨリ後ノ
コト、見エテ。正保ノモノニハ泉井村ノミヲ載セ。
元禄ノ改ニ今ノ如ク三村ニ別テリ。戸數二十。東ハ
下泉井村ニ續キ。南ハ熊井村ニ接シ。西ハ玉川郷ニ
及ビ。北ハ竹本村ニ界ヘリ。東西十五丁。南北十丁許。
御入國ノ後ハ御料所ニシテ。寛永十一年。永井與次

郎ニ賜ハリ。子孫シバラク知行セシガ。享保十六年。上リテ元ノ如ク御料ニ復セシニ。元文三年。秋山伊兵衛ニ賜ヒテ。今子孫駒之助ガ知ル所ナリ。

高札場 村ノ南ニアリ。

諏訪八幡合社 村ノ鎮守ナリ。寶泉寺持。

寶泉寺 寶珠山下號ス。新義真言宗。入間郡今市村

法恩寺ノ末。正觀音ヲ本尊トス。

愛宕社

下泉井村 シモイヅツ

下泉井村ハ上泉井村ノ東ニ續キテ。松山領ニ屬ス。江戸ヨリノ行程前村ニ同ジ。民戸三十五。東ハ大橋村ニ添ヒ。南ハ熊井村ニ並ビ。西ハ則上泉井村ニテ。北ハ須江村ナリ。東西へ十二三丁。南北七八丁許。御打入ノ後ハ加藤平右衛門ニ賜ハリ。今子孫安之助ガ知ル所ナリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

金澤

原ヶ谷戸

大山ヶ谷戸

金澤寺 小名金澤ニアリ。禪宗曹洞派。入間郡龍ヶ谷村龍徳寺ノ末。泉井山ト號ス。開山梅叟高和尚ハ。天正十八年九月二十九日寂ス。本尊正觀音ヲ安セリ。慶安二年。觀音堂領トシテ。八石五斗ノ御朱印ヲ賜ハレリ。

大橋村 オホハシ

大橋村ハ上泉井村ニ辨ゼレ如ク。元ハ泉井村ノ内ナリト云。江戸ヨリノ行程前村ニ同ジ。村内ノ小河ニ橋アリ。僅ナル橋ナレド。近村ニハ是程ノ橋モ十ケレバ。大橋ト呼ビ来リシヲ。分村ノ時遂ニ村名トセシト云。領ハ前村ニ同ジク。玉川郷ニ屬セリ。東ハ石坂村ニ隣リ。南ハ赤沼村ニ添ヒ。西ハ下泉井村ニテ。北ハ奥田村ナリ。東西ハ二十丁ニ徑リ。南北ハ八丁ニ過キズ。民戸三十餘。正保ノ頃ハ御料及ビ岡野

長十郎が知ル所十リ。其後明和年中。一旦御料ノ地
ヲ清水殿領知ニ賜ハリシガ。寛政年中上リテ御料
ニ復シ。今御料所ノ外岡野平三郎が知ル所十リ。
高札場 西ノ方ニアリ。

小名

橋端

板谷^{イッ}

黒石明神社 村ノ鎮守十リ。祭神詳ナラズ。村民持。

熊井村^{クマ}附持添新田

熊井村モ領名及ヒ江戸ヨリノ行程前村ニ同ジ。戸
數八十。東ハ赤沼大橋ノ二村ニ隣リ。南ハ大豆戸村。
及ヒ入間郡小用。如意。和田ノ三村ニ界ヒ。西ハ高野
倉村ニテ。北ハ上下泉井村ニ及ベリ。東西ノ徑二十
三丁。南北ハ十四丁餘。按ニ入間郡今市村法恩寺ノ
年譜録。應安元年七月。越生兵庫助田畠ヲ以テ。法恩
寺へ寄附セシ條ニ云。武藏國比企郡内熊井云云。田
畠在家等事越生兵庫助本知行分也ト見エタレバ。

當村ハ貞治應安ノ頃越生氏ノ領地ニシテ。後法恩寺領タリシコト知ルベシ。御打入ノ後。正保ノ頃ハ御料所ニテ。寛文四年。内藤式部少輔ニ賜ハリシガ。寶永元年上リテ。明ル二年。本多小平次。内藤丹後守。山田立長等ニ賜ハリ。今其子孫本多甲次郎。内藤主膳。山田立長が知ル所ナリ。檢地ハ元和六年。天野内匠助。太田勘兵衛紀セリト云。又天明六年七月。飯塚常之丞が檢地セル新田アリ。本村持漆ノ地ニシテ。御料所ニ屬セリ。

高札場ニケ所 一ハ東ノ方ニアリ。一ハ西ノ方ニ

立リ。

小名

城ノ上 妙光寺ノ邊ヲ云。城迹ナルベシ

トイヘド詳ナラズ。

鳩山下 正覺^{シヤカフ}ヶ谷戸 能施^{ノセ}ヶ谷戸

鍛冶ヶ谷戸

山王社 慶安二年。社領七石ノ 御朱印ヲ附セラ

ル。勸請ノ年代等詳ナラズ。

別當西福寺 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺

ノ末。陽石山觀音院ト號ス。開山堯榮ハ。慶長年

中示寂ス。本尊彌陀ヲ安ス。

黒石明神社 村ノ鎮守ナリ。本地佛十一面觀音ヲ安ス。妙光寺持。下三社同ジ。

神明社

愛宕社

八幡諏訪合社

山神社 西福寺持。

毛呂明神社 村ノ産神ナリ。同寺ノ持。

妙光寺 慶安二年。寺領九石ノ御朱印ヲ賜フ。新

義真言宗。入間郡今市村法恩寺ノ末。熊井山不動

院ト號ス。開山竺翁ハ。弘安九年ノ示寂ニテ。其月

日ハ失ヘリ。本尊不動ヲ安ス。傳教大師ノ作レル

所ト云。

地藏堂 行基ノ作ナル地藏ヲ安ス。

満願寺 同宗ニテ。入間郡上野村醫王寺末。東光山

藥王院ト號ス。本尊藥師ヲ安セリ。慶安二年。藥師

堂領トシテ。六石ノ御朱印ヲ賜フ。開山承海ハ。

天文五年十一月寂セリ。

十五堂

高野倉村 ツカノクラ 附持添新田

高野倉村ハ玉川領ニ屬シ。江戸ヨリ行程十五里ニ
餘レリ。東西ノ徑十二丁餘。南北七丁許。東ハ熊井村
ニ隣リ。南ハ入間郡大谷村ニテ。西ハ本郷馬場番匠
ノ三村ニ接シ。北ハ玉川郷ナリ。民戸十二。村内山谷
多ケレバ。天水ヲ湛ヘテ耕植ス。故ニ屢旱損アリト
云。當村昔ハ御代官所ナリ。其後元禄十三年。金田周
防守ニ賜リ。今子孫主殿知行セリ。檢地ハ寛文八年。
深谷喜右衛門紀シテ貢數ヲ定ム。此餘村ノ西ニ持

漆ノ新田アリ。安永三年。御代官飯塚常之丞檢地シテ。御料所ニ入レリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

柚ノ木

御伊勢山

ハ、キノ臺

箕山 村ノ乾ノ方ニテ。登リ三丁許ノ山ナリ。此所

ヲ古城跡ナリト云。サレド何人ノ居住セシヤ。其

名ヲ傳ヘズ。

正圓寺 新義真言宗。入間郡今市村法恩寺門徒ニ

テ。無量山ト號ス。本尊地藏ヲ安ス。開山光賢。天正

元年示寂ト云傳フ。

鬼子母神社

阿彌陀堂

新編武藏風土記卷之一百九十一終

